

資料 1 1 : 放射線部門システムのユニット化の検討

わが国では、今後の IHE-J の活動の中で、下記項目に継続的に取り組んでいくことが不可欠の課題である。

- (1) ユーザによる IHE ベースの RFP (要求仕様書) の作成とシステム導入
- (2) ベンダーによる IHE 実装への対応と実績の積み上げ
- (3) 海外への情報発信

なお、IHE-NA (北米) では、従来からの地道な循環器部門、臨床検査部門、薬剤部門などへの水平拡張活動の展開よりも、一気に飛躍する HL7EHR を支える IT インフラへの急速な展開が注目される。IHE-J でもその対応は行っているが、本資料の範囲を超えるのでその紹介は割愛する。

II.研究成果の刊行に関する一覧表

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の 編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年	ページ
高田 彰, 他	モデルとコンポー ネントを利用 した電子カルテ システム開発	第23回医 療情報学連 合大会事務 局プログラ ム委員長 山本隆一	医療情報学 (第23回医 療情報学連 合大会論文集)	日本医療 情報学会	東京	平成 15年	83-84
藤 咲 喜 丈,他	HL7V3 の RIM を用いた電子カ ルテシステム用 情報モデルの開 発	同上	同上	同上	同上	同上	94-95
手 島 文 彰, 他	コンポーネント 型電子カルテシ ステムの開発フ レームワーク	同上	同上	同上	同上	同上	89-93
長谷川 英 重	標準的電子カル テシステム向け HL7レポート	同上	同上	同上	同上	同上	96-97
村上 英	診療文書国際標 準 HL7 CDA (Clinical Document Architecture)	同上	同上	同上	同上	同上	100-101
大 内 隆 信, 他	ユースケースに よるリスク管理 型ソフトウェア 開発手法を用い たオーダリング システムの構築	同上	同上	同上	同上	同上	98-99

高田 彰, 他	病院情報システム開発でのUMLの利用による、要求要件に関する円滑なコミュニケーションの実現	同上	同上	同上	同上	同上	85-86
長瀬啓介, 他	Java2Enterprise Edition を用いた推論エンジンを有する病院情報システムの開発	同上	同上	同上	同上	同上	225-227
大野国弘, 他	臨床判断支援システムのための知識ベースの開発	同上	同上	同上	同上	同上	490-494